連城叢書

三十九

特別
14
696
136

696
136

宮内省圖書寮文庫

目録

一 伊勢三所義盛忠百首
一 景山公御章之寫
一 正貞寺御由緒
一 遠州見附本陣上村清兵衛方古書
一 神道葬祭御口
一 齋藤三代記
一 [illegible]
一 清輝陰陽集

宮内省圖書寮文庫

伊勢三郎義盛怒心百首

大風ヤ大雨ノ降時ニコソ君夜討ノ名ヲリトハスレ

雨風モシキリナル夜ハ道ノ人ノ働モナシ

偽リヲ平ト思ハヒ君ヒニハ歌タヒヌクリ習ナリケリ

偽リモ何カリルヒキ武士ノ忠アル道ヲセント思ヒテ

君ニハ時ヲ知コソ大事ナレ歌ノワカレト油断スル時

陣替ノ角ヒ志ノアラハ君ヒツヽ先ヲ行テ寄内ヲセヨ

陣替ノ寄内ヲセハ山川ヤ歌ノ間ヲ第一トセヨ

君ヒツヽヒメツル事ヲ繪圖ニシテ軍者ニ白ヒ談合ヲセヨ

陣替ハ先特ト日ニ習アリト君ヒノヤウハ所歌アヒ

君ニハ城ト陣トノ習有難所ノ方ト森ト物カケ

君ニハ身ノ働ハ非スレモ眼ノキリヨ第一トセヨ

夜討ニハ君ヒノ者ヲ先ヲヲ歌ノ寄内知ヲ下知セヨ

こくの兆

軍ニハ為ノモノヲ遣シテ敵ノ作法ヲ知テハカラヘ
為ヒニハ敵ニムカヒテ下知ヲセヨ只老キハ推量ノサタ
業モ敵ノ心ニヨルワカシ為ヒタ入テ物音ヲキケ
為ニハ行事ヨリモ退セヲ大事ニスルヲ習ナリケリ
タヽ人ヲウレテ為ニ行時ハマツ退ロヲシルシヲボヘヨ
為ヒニハ習ノ道ニ多クレト先第一ハ敵ニ近ツケ
我陣ニ夜討為ヒノ人事ハヨト人ノ科ヒユフキケ
為ヒニハ首男サヘ多クレト先食物ヲ腰ニハナスナ
火ト水ヲハナサス物ノ為ニハ野山ニスルヲ假ト思ヒラ
墨筆ハ一方事ノ用ニ立ワカシ為ヒニ行ハヤタテハナスナ
城中ヤ陣夜ヲシルトハヤリタレヨリ帰レユリ功者ナリケレ
敵ニモシ見ガラレナハ足早ニ逃テ帰レ為ヒナリケレ
同士討モ味方ノ下知ニヨルワカシ武士ノシルシヲ兼テノ定ヨ

サヽヲカハ姿ヲカヘテ色々ニ敵ヲナフルソ盗人ノワサ
道筋ノ目オトセント思フヘシ我ヤワスレテフカクハシスナ
為ヒ得テ敵ノ方ヨリモ同士討ヲ用心スルソ大事ナリケリ
ウヲヨリモ退事有ハ森林スコシノカケニ先カヽムベシ
為ニモ又夜討ニモ行道ヲ帰ルハ大事行スケテヨシ
得ガルソト思ヒキリツヽ為ナハ誠ハナクト勝ハ有ベシ
為ニモ個リヲスルナ武士ノヽユトノナキハ一類ノヒケ
ヲハ另ス敵ノシカタニサワリナハ為ソ心ノアラハレソスル
大勢ノ敵ノサワカハ為ヒヨシシツヽル方ニカクレモナシ
為ニハ三ツノ習ノ有ソカシ論トフテキトカハ智略ト
武士ハ常ニ信心アイタスヘシ天ニソムカハイカテヨカラン
為ヒニモ行事アラバ祈念シテ所願成就之上ニ出ヘシ
為ヒテノ道ヤ門出ニ池有ハ時日カヘツヽ改テヨケ

川出ニ入ワリシ途ニ秋アテハ夜討ノ吉凶ケリ
門出ニ鳥ノ声ノ聞ユルハ半ナレハヨシ下ハツヽシメ
為ニリ方角アシリ所ナラズ失能方ニ門出テセヨ
行先ニ嵐ノ横ニ行事ハ猶イメヲヨリフカツヽシメ
生物ノ為ヒニ白ヒツヲハヾ失行事ヲ財酒ヲセヨ
為ヒ行道ニ蛇ノスヽ事ハ仇合ノヨキ瑞相トシレ
為ヒニハ星ナキ方ニ行メヲリ暮ル夜ヲハ空夫ハ方
稲妻ノ海ヒカリヨリ士星ナレ先ニ夫ルヲ深リ腹メ
月ノ夜ハ白キ出ヲ月ニ三ヲ月ニ為ヒ男キ物着ヨ
月ニ三ヲヒシ時ハ影ヲナシ後夫ハ影ヲ
雪降ニ為行事有ヲハ先足跡ノ用ヲヲセヨ
日ノ出モノヽヲハ為ヒニ行時ハ書直サセヨ後ノ名ノメメ
我ヲハアヲヲヲヲキリヨカルヘシ又ウメカヒハ腹病ノワサ

武士ハ夕ヽ物毎ノヨクシナリ手カルキ（表）立イサキヨキ歌
科人ノ跡ヲシタヒテメヲヨハ姿ヲカヘテ人ニシラスヲ
入ヲ知リ我ヲシラレヌシハサコリ為ヒ者ノ功者トハイフ
科人ノ口ルヲ知ルト思ナハ道ヲリカヘツヽ出合ニセヨ
一人ヲ二人ノ為ヒ行ハ歌ヲウサミニ跡先ニイヨ
為ヒニモ又ハ同行ノ時ニヲヽ夜ヲ大事ト仏掛セヨ
長道ハ大勢ツレテ同行セヨサハリヽニヤスヽスルタメ
為ヒニモ夜話書ル草卧ノ石覆ヲトラヒ印成ケリ
ウカレタリ油断ナユレル物ナレカワリヽニ夜話書ヲセヨ
書行ヲイヤヽヽヽヽヽヽヽ高砂酒盛謡ヒ柏ヲバリエキ
サウカヒキ事有トモ書行ヲハ立ヲカザリ物ヲコンキケ
夜廻リヤ大事ノ番ヲ久ル時ハヒツヽリ居ツヽ物音ヲキケ
夜廻リノ通ハ跡ヨリ廻ルヲハカヽリ討ルイフナラヒナリ

カヽリ付ハ必ズ三五年迄ハコノ敵ノ名ヒヲ見ツケルトキケ
敵方ノ馬ノイナヽキニキリナハ夜討ノ用意スルト知ルベシ
森林ニ鳥鳴ニテナラハ敵ノアルソト用心ヲセヨ
夜廻リノ心カケニハ物音ヤ敵ノサワギ　オト油断ト
夜廻リニ不審ノ物ヲ見付ナハ智恵ヲ廻シ生捕ニセヨ
夜廻リニ討捨ンヨリ大事ナル　早マリ討テ味方ヲ失フナ
成カタキ名ヒヲ見ル手柄ニハ仰ヲシテ婦人ヘキ事
武士ハイツモ九尺床ヲ忘ヘシ身ヲツツロケテ油断ハシスナ
何事モ石一ツニ寄ヒリ才ノカユヽロニ心ヲ入スナ
一ノ前ニ敵ノ有ソト石得ハ油断ノ道ハナカラシキナ
暮ハ人ノヲムリノサメヤスキ名ニ行ハ心共ノセヨ
敵ノ中ニ女ノフシテ有時ハ火ノ気ヨリ二大事コソアレ
四季ノ火ハ習ノ道ノ有物ヲシラデ立ハアヤウカリケリ

敵ノ城敵ノ陣所ニ火ヲツケバ味方ニ府ノ約束ヲセヨ
城ヤ陣ニ火付ヨト思ナハ味方追付時ヲ待ヘシ
陣ヤ城ニ火ヲツケヌヘキ時ツヽ、暮方ノ風ヲ待ベシ
敵城ノ名フシヒヲ所ナラハ紛シヌ物ヲ所安トセヨ
敵方ノ旗馬印取リルハハ味方ノメメニ思キトヲキノ
火ヲ付テ味方ヲカツリ物ナラハ時ヲツクリテ声ヲ合セヨ
敵方ノ城ヤ陣所ニ名ヲ書テ名手柄ヲ人ニ知ラセヨ
ワカ方ニ名ヒノ入ト思ヒナハ味方ヲカリ入セニサリヲセヨ
書付ナトニテ食非人来リナハアラソモテナニ追拂ヘシ
他国ヨリ人ナラハ親類ニ書付ニ近ノ寄ラ思キウ
書付ニ三ノミタリヲムリナルナラハ事有ヘシト用心タセヨ
旅ニハ何ニツケテモ油断世界見ノ事ノアルソトハキノ
大事ナル荷物ヲニテチニ旅ナラハ先川岸ノ道布ヲ見ヨ

荷物ナハ座鋪ノ中ニツミ置テ雖 紫 ニ書ナスヘシ
旅ヤトリノ二階座鋪ニ三氣ヲ付テスカキリ左ニ用名ヲセヨ
名ヒニハ二人行ヒリ大事ナレ独名ヲニシリ事ハナシ
二人行名ヒハヒトリ先ヲ以ヲ 師ナル人 ニ道ヲオシヘヨ

六首欠

右軍歌百首者 伊勢三郎義盛之詠 無疑物 名誉 作也後見之 校正而書写 誤可或
或傳云 伊勢三郎者 伊勢國鈴鹿山鬼八郎武盛
一子也依者武勇 聞義經上洛之御被對面云云

源義經百首軍歌

大將ハ人ニ詞ヲ能慰テ日ヲ賦ツヽ 慰安ヲナセ
大將ノ下知ノ聲ノミ聞ヘツ皆静リテ地響ハ勝
軍兵ハ團扇取又ル 入ノ唯調議ヲ聞ノ左リ右リニ
無分モ空ニ鳴声 ヲハ其ノ日ノ軍ハ負ト知ベシ
慰安ニ多勢計ヲ ハ唯闇ノ夜ノ礫ナルヘシ
唐土ノ七拾餘度ノ戦モ 項羽ノ下知ノ間テ社勝テ
時ト日ハ味方好シハ歌モヨシ只所要ハ方角ヲトレ
日取ニハ其家ノ習有 扨ハ照ル日ト風吹又ヨト
方角ヲ所ニヨリテ見分スハ月日星ニテ東西ヲ知レ
百人ヲ十處ニ置備社ノ十ノ歌ニモ 步勝トナレ
張良ヲ百万騎程集ニモ下知ニ不外負ト云ヘシ

北ヘ行足軽共カ腸ヲ見ハ其ノ見ル方ニ伏アリト知レ
歟ヲ只鞠ト思ラ皆人ノツメヒラキセハ爭ノガサシ
歟　サウナク出逢　會釈ツヽシホヌカセヨ
其　ニシテヤウ懸レ
猛勢カ一ツニ成テ分ナリハ其日ノ軍ハ負ト可知
朝軍メリミテ負ハ其後ハ軍ニ勝又調伐トリシレ
勝トテモ高名ナ昔ヨリ勝テ甲ノ緒ヲシメル
歟川ヲ越ユハ最退ケモ川ヲ越ナハ返サレガメメ
トラ敵ノヒシメリ時ハソラユミヲシテ先歟ヲ只ナツルヘシ
伏ヲ置所ハ川ヤ橋ノ本ハヘタル藪ノ陰ト細道
大風ヤ大雨ノ降ル時ニヨリ夜攻夜討ハ未ル物ナシ
幾度モ調儀ヲ入ヨ歟城ユナルモナラヌモ歟ハアレ
武器ヲハ色ヲ廻ス物ノカシ油斷ナナシテ歟ニ又レナ

働ハ卯辰ノ刻ニ打出テ午ノ時ニ敵ヲイルヘシ
打殿道ノ行末見合スハ深御ニトヲツクシメ
軍ニハノ高名ナセハ感物ヲ頼テアヲヘヨ後名ノ辱
無比類ナセリ武者ハ引合テ褒美ヲ面ヲサセ
カヘリテ退ル敵ヲ慕ナハ敵ニ遮ヲ待テ
幾度モ敵ノ中ニ疑ノ出来ヤウニカラクミヲセヨ
ケナケヨリ武器社ニセ武士ノ負ヲ軍ニ勝ノ武器
大將ノ武器モナクテケケナハ嵐ノ前ニウロヘル　花
軍ヲハ大事ト思ヘ假初モ敵ヲ下リテケガヲスル
中時ハ大將軍ヲ中ラメ後軍ノ勢ヲサキニ入ルヘシ
ヲモ一ニ度ニ入ル度ナカレカツク引又ハ備ヨ
敵ニ若面着ラシテ日ノ暮ノ危落ヲ仕テ夜ノ明ノ退
軍ニハ敵モ御方モ中將ハ大事ニカヽル物トコウシレ

早行早遂テ大将ニ歌ノ術ヲ云リアシケレ
ヲ不ト射北ヲ取ト思ナヨ 鬼ワ引ハ足軽ノワザ
足軽ノ行重不ト雖ハ勢ハ敗軍ノ端相トシ
足軽ハ歌ト御方ノ中ニ於テ侍タテセシ 行度ハ
足軽モ駆ニ出テ者ヘシ 所要ハ備ナリケリ
負度ヲモ引ス程ニテアリハ ヤライ方ヲ先毎ヲモ
主城ハ沙汰ニ及ス山城ヲ負度ヲ結テ 陳ヲヤヨ
歌城ニ取懸ケテハ頓引ナフシラヨリ 暮ハ敗軍
ヲ見テ歌ノ鬨ヲ御ハアヒシライハ、ホヲヌカセヨ
歌陳ニ高ノ嘶頻ニテ鳴ク喋リ時火ツケイルヘシ
幾度モ歌陳ニハ高 鶯ヤ者ヲ遣ル計ヲ合ヲセヨ
我ニハ民ヲ言ヲ守護ナシハ先乱ノ政道ヲ
酒博女ヤ喧呑狼藉ハヤリヌル陳ハ早速破ラレ

大将ノ落馬ノ時ハ高ノ前廻リヲカケ左ヨリシ
歌ヨリモ二花ナル高ノ来ルハ其隙ハ函ニ神ニ進ヨ
大将ノ乗ル高ノ下リナハ勝ト知ヘシ ヤナルハ下ケ
命モ御方ニ入 歌鳴ナラハ ヨリ下ニ器セテヨケ
ノ空ニ及ラハ勝 地ハウ時ハ負ト知ルヘシ
陳中ニ高ニサワキ高ヤ ノ 頻ナハ夜討ツトシ
歌ノ陳アレヌ所ニ夜ナラハ助ケノツキ 陳ヲ破レヨ
押ヘ来ル敵ニ助ノ属ナラハ必歌ハ負ヲトルヘシ
我方ニ助ノ属ヲ其取ノ歌ウツヲ歌ハ敗軍
我陣ノアタリ森ニ夜鳥ノ三度喋ハ大事ノト知シ
軍ニハ遠キノ風ノ吹ハヨシ ムヤウ雨風ハ吉ノ知シ
出陣ノ三日ノ中ニ雨ハ風雪ノ降ナハ大事ノト知シ
出陣ハ三願ニテ祈禱ニテ 諸願成就ノ上ニ有ヲ

取合ノ勝負ハ方ノ大ニ見テ吉ノシルシ
合戦ハ只天道ノワサナレハ
不浄ニテ甲冑ヲキル武士ハ軍ノ神モ
大将ノ信心ナレハ軍兵ノ軍ニ勝タル瑞相トシレ
性ノ有ハ祈願祈願ヲ好ラセトリ天道ノ
年月ノ最ヲシルシ入ラン陣屋ニヨシテ方角ヲトレ
川上ニ大将年ヲトルヒ家重レハ異類ナリケリ
敵ノ陣鶴翼ニトル物ナラハ御方ノ陣ハ鋒矢ニトレ
敵ノ鋒矢ナラハ御方ハ鶴翼ニ分テ中ヲアケヘシ
敵ト人ト談合ヲセヨ武士ノ大事ニハ陣取ツカ
陣所ヲハ兼テヲリコト可定ヲ城モトレ年城モトレ
日ハ吉クト其大将ノ命ヲ月日ヲハ為
大将ハ神ヤ仏ヲ頼ツク信心ナルリ軍ニハ勝

惰ノ手ノ敵ハ厳ハ山リカシ御方ヘ厳リ時ハヨロコビ
目ノ音ノ色ヨリ鳴ハ吉凶ヨリ必リナニスハ慎ヲナセ
箭尖ノ大イナリ長ニ真ニナリ色ヲ赤ヲ陣所ヲ
箭尖ノ細ナリ色ヲ赤ヲ孔ヲ白キ色ハ忌ナリ
旗ノ気ハ敵方ノ消ハ吉風ハ方ノ消ハ凶イム
押ル勢ニヨリ晴ノカハ勝ト知ヘシノカサルハ勝
月ニ添星ノ有ナハ西ノ方ニ星有方ノ勝ト知ヘシ
夜ヨトニ六羅ノ星ノ色ヲ白キハ吉凶黒キハ凶
敵ノ伏置ヲ見ヨニ星ノヨキ星ノ夜ノ又雲ノ白キ
矢始ハ子ノ日ノ男ノ七日精進ニ日夜門出
着具足瑞籠ヲ見物ヲ見ハ身ハ社也祝神
軍陣ニ精進ヲ久シハ身中ヲ悦甲ニ至ルトシ
大刀大太刀ヲ帯直ヲ見ヲ曲馬ニ乗武ヲ学カハ

軍ニハ百千万ノ習ヒト有ノ之ニテズハ人二尋ヨ
先ヲ之ヲ得ル有ラハ静ヤリ事ニ利ハナシ
陳上ニ美ノ舞ノ雲有ハ七日ノ中ニ陳ハ破レシ
同氣ノ歌ト味方ニ之ナラハ呂律如ク呂ヨリ
益軍ニ賞歌アヲ備ハレ夜軍ニナラハ火ヨリ数多シ
歌陳ニ楯ノ備ヲ陳トラハ必軍ハ有ベシト加シ
大將ノ歌舞恵ト悦ノ勢軍務ノイ　二九十二
我国ノ治ル時ハ他国ヲモ育テ置ヨ後ノ世ノ為

三首欠

以上百首軍歌終

右軍歌者源二位俊輔卿中年政子所持而竟去後年春將
秘之至建武年中足利治部大輔源尊氏傳授之号武門
統領軍書畢寶蔵院義詮傳授時等持院殿加筆曰
天文元賢共作後生傳源朝臣治部卿武勇雖勝有功無
咎貴族多歌道之所謂義仲義教義定行家義頼
義經等也依政道事果受天責去此軍歌古今名言賢
作也係骨肉臣借説被告事欲有餘故鎌倉殿中
依義經怨雲不換時日三度及災上也加之義經
亡魂憑深時成災怪者不過二世節乃渡最後武平
領之直故道按言天下万民之下慎之可被注連
仕連於天津書畢夜学之穴賢万御矣

康平元年　正月十日　妙義在判

此書勘解由小路二品禪門源義將号武衛後為
鹿苑院殿管領僧信受付屬家嫡斯波氏
衛督後二位源義重
應永三年丙子十月十日 尋英在判
管領義將号六代孫武衛源義敏 往年六十一歲於北陸
延德二年庚戌正月七日
越前國大野郡卒此時當家守護入條侯豊
後守卒清僧卒
文明十四年壬寅三月二日 傳授之
附子家嫡卒清衡
義經 從二位上左衛門督 頼朝 前大納言 頼家 左衛門督
實朝 從二位右大臣 政子 御台所 時氏 修理大夫
恭時 陸奥四位下 時頼 陸奥四位下 經時 從四位下左馬權頭
時頼 後五位下相模守 高時 從四位上相模守 貞時 從四位上相模守
盛時 右馬權頭相模守 久時 武蔵守
尊氏 征夷大將軍二位權大納言 義詮 三位中將 義満 大政大臣
義將 刑部卿中將 義教 從三位 義勝 從三位
清業 從五位下左衛門佐 清久 七郎左衛門尉
時宗 後五位下相模守 貞時 從四位上相模守
時仲 武蔵守 久時 武蔵守
女
義詮 三位中將 高師直 左兵衛督 義宗 從三位左兵衛督
義重 正三位左兵衛督 義教 從三位
義村 從三位 義敏 從三位
清衡 修理大夫 清通 左馬頭

右軍歌之系圖古來如系子若同時口授心傳無
師雖然八幡神祇太夫經繼一傳而後聞賢武勇士
遺言參經卷摠寸條之要旨百首歌各後黒

頑言而已後見之賢士援正而去誤可哉　今加筆同

寛永十九年壬午七月廿九日

紫陽　南部賀是生　牧朗子

右義盛義経之百首古写本者細埜忠陳

先生之蔵書ヲ以テ再写之于時

元治元年甲子十二月十九日雨降夜

燈下ニ筆納

旭陽　小寺廣路

景山公御文章之写

六十余州之諸侯[illegible]人情時勢[illegible]

天下国家[illegible]

[illegible]

公[illegible]

[illegible]

萬[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中[illegible]

三月十五日

景山

一

三月十五日

[illegible]

一 三月廿五日宰相殿より上書被仰出候所久世大和守殿御渡被成候
一 右之外別紙御渡候様申来 京都
三月廿二日二通被下候
御書付
御聞合之上宰相様
右之通御達有之候
御坐候
一 三月廿三日二通被下候
御書付
御聞合之上宰相様
上書

一 宰相様
上書

右之通

出雲守殿 御家ハ 出雲守殿御家之 宝
父[illegible]勝[illegible] 大[illegible] 一[illegible] 城
維[illegible] [illegible] 同維[illegible]
[illegible] [illegible] 寺[illegible] [illegible]
[illegible] 一和[illegible] [illegible] 及[illegible]
[illegible] 内[illegible]

一 寛文三年十二月三日[illegible] 老中[illegible]
[illegible] 甚[illegible] [illegible]
一 [illegible] 我[illegible] 家老
[illegible] 尊[illegible]
[illegible] 羅[illegible]
公[illegible] 右[illegible]
丙[illegible] 八月[illegible]
[illegible]

右[illegible]
[illegible] 年[illegible] 風[illegible]
[illegible] 文道[illegible] 出羽[illegible]
[illegible] 閣[illegible]
[illegible] 為[illegible]
[illegible] 西[illegible] 洋[illegible] 小倉[illegible]
大[illegible] 神[illegible] 指揮[illegible]
[illegible] 安 [illegible]
寛文丁未四月廿五日[illegible] 定祥[illegible] 男[illegible]
[illegible] 別[illegible]

未八月
公[illegible] 二十[illegible] 家老[illegible]

中略

禁裏[illegible]

文武[illegible]

公[illegible]

清閑[illegible]

嘉永庚戌春三月[illegible]

嘉永庚戌仲夏[illegible]

嘉永甲寅仲夏以天[illegible]

安政戊午仲秋以中[illegible]

寺山吉鷲藏本證字

天真叟

小鄧正信

連城亭主

一

○正光院御由緒

神君様御四男

松平前隼人殿

秀忠公

源忠吉朝臣當年御[illegible]

忠吉公

御母公西郷局

駿府御地名龍泉寺殿

忠吉公

騎王郡忠吉御[illegible]

寺御正覚寺由

満誉[illegible]

御招請住職被為

三河サヒエノ御屋敷天正七庚寅年五月十九日

御法号則

奉唱[illegible]

文禄元年長二月十九日武州

其地持田村古

光明寺中

御[illegible]

御[illegible]

正覚寺殿

御寄附被遊[illegible]

慶長十五年関ヶ原御陣之節

私参詣自樹大師

御改尊牌御安置

薩摩寺於比類依　御武功　御當山御寄願被遂習年
三月清涼寺　御城被為移　其砌御前志之通　為庄
正覺年住持之道文之文被為　召寄　度度長人卯年於
清涼寺一宇御建立　寺号正覺　御唱墳内六拾間四方
川前南北東西六拾間　御降地被成下置　其
正覺寺殿為　御供養料　御寺領高百石　清涼寺郷村三ヶ
御寄附被為遊　其上度々
一　高道上人俄再度　御招請被為遊　召出　御前上　被
御意之旨年数以其御被下置
一九條御袈裟　一衣
但禰渓錦
右御戦場之御御座敷　召出　御和達相成　為
為御被為遊　其後　被下置　御品
一御掛物　一帽子　山中画
一同　古法眼元信筆
右御品共二度　舞頭仕當寺　寶物之事御仰
右之道上人代之法脉　出世之僧法嗣　拙僧法名拾代　前題之
御品　相傳未子孫　所持仕候　乍恐三品共　寶政二戌年四月
當寺付物　御改之節御役所　御達申上置之
一龍門寺殿　御位牌　執奏被為遊
寺号之儀　刺諡
寶暦年寺殿　院殿号　大夫人松誉自樹　大禅定尼　奉唱　千時和侯三條
其節駿河國龍門寺　宗門之院殿被為遊　當時　御寄附為
遊　御脇面正覺寺殿　厳上奉唱　出来
刺命
寶暦年之院殿　被為成　御寄附　御寄附
尊牌御額　天文年　御付物　寶暦年殿　奉仰
薩摩寺　御位牌長　拾三年未　二月十七日　於大保加賀守忠常　庫被
為罷御　徳川家　月七日　御病悩　危急　被為
台助時
天忠之忠常　寺殿号　渡御　御病悩　御尋問　被遊　被為
如此　終三月十日　御逝去　被遊　御脇面

性高院殿寛誉崇山大禅定門ト奉唱ル

忠吉公御供衆　卯日

假名　稲垣将監　戒名大巖了心門　同廿三月五日

石川主馬　同　投誉善正門　同断

忠吉公二七日御逮夜三月十七日

假名　小笠原監物　戒名舊杲一處門　同廿三月十七日

佐々記内　戒名花玉清空門　同断

以上

一　薩摩守松平忠吉御遺言ニ而別時念仏張行被　仰出於当寺二月廿日ヨリ

三月十日迄三七日之間御法事相勤候　其御従駿府

神君様三ケ條之御制札被遊下候　御制札之写

禁制　正覚寺

一　於寺内喧嘩口論之事

一　對僧侶男女狼藉之事

一　出入之者寄宿之事

右條々令違犯之族者速可被處嚴科者也

依如件

慶長拾三年二月十日

右御制札之儀寛政三亥年ニ至而百八十四年成寺社奉行

上野内膳殿當寺由緒御尋之節於御役所

御覧ニ入其節被仰付候御写真ニ而相納候

入長持ニ納置當寺御什物之内也

相改

一　薩摩守様御逝去之後

神君様思召ヲ以清洲御城名古屋ニ御引移相成候ニ付二十五郎

正覚寺も殿下御改

薩摩守松平御菩提所ニ相成右御寺跡ニ

神君様御引移ニ付性高院殿

當寺ニ御廟建被遊候

寺号も御内ニ大雄山性高院正覚寺ト御唱

薩摩守松平御願之通

宰相様御菩提所ト御定被遊候　其節

宰相様御菩提所

薩摩守松平御牌御納被為置御寺領百石并

當寺之境内御除地御附被為成永世無退轉

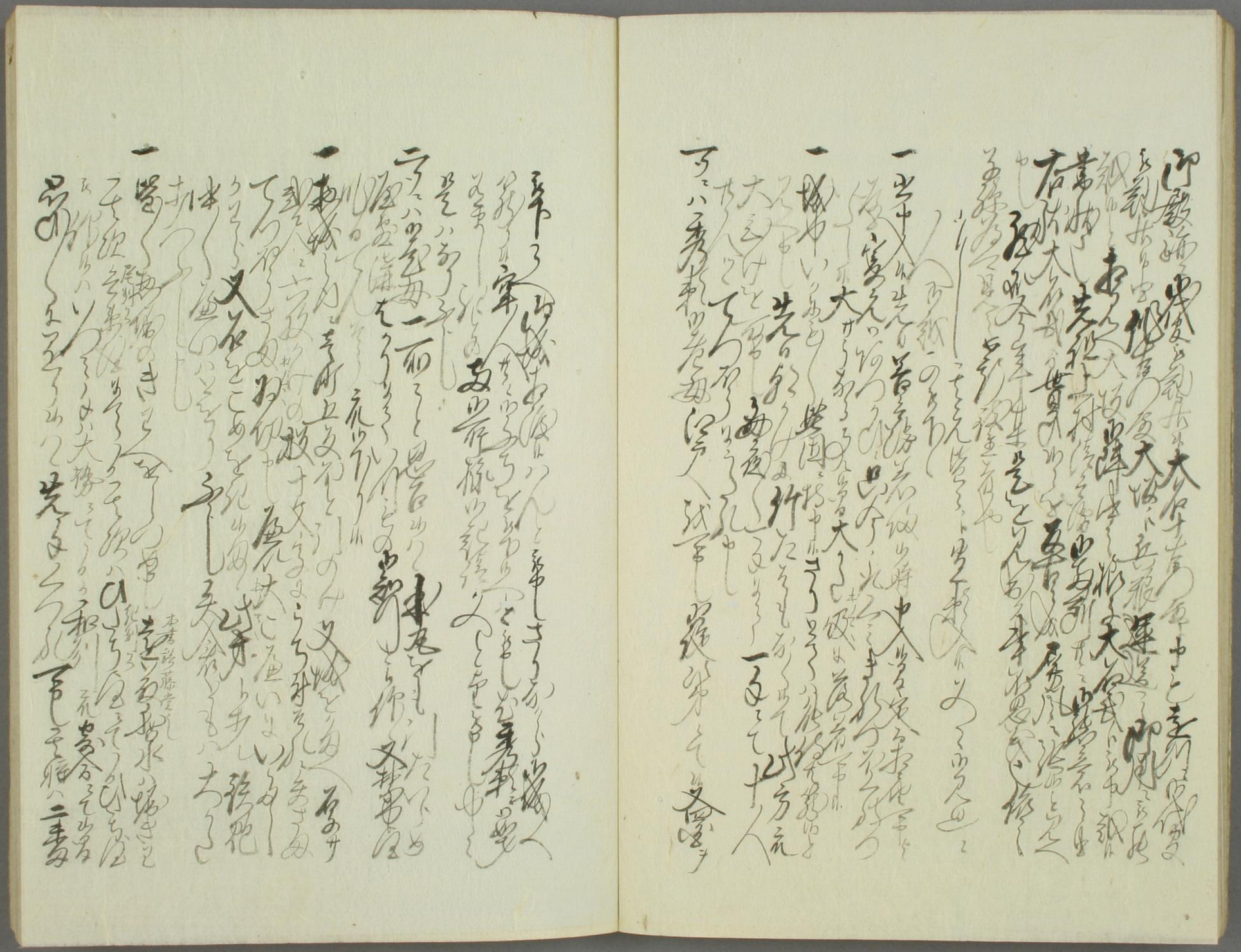
御四向申上ル　ハ此之以後ニ

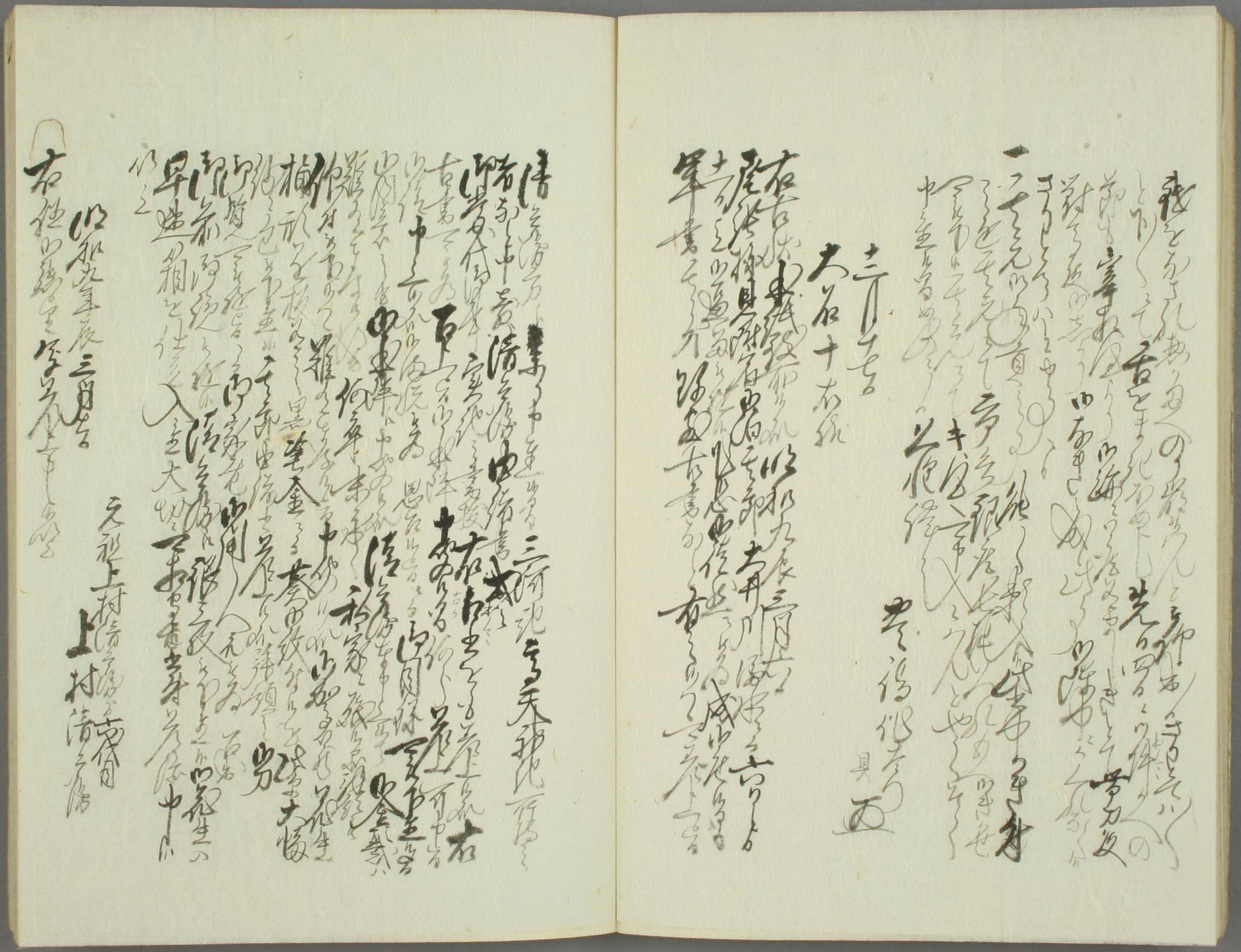
右御由緒御寄附品之儀去ル天明八申年十月寛政
三年亥四月依　御尋御役所ゟ委細書上候処
上件之通書面之通候ニ付　正覚寺殿被為遊御領
御母公御進呈之節御判面　西姫君様上
御来臨被遊　再進之御
神君様御由緒之出候令　格別之御由緒有之
寺之儀御座候
源敬様御代
御代之様
御目見被仰付
御両府松平号御　御世重之難有仕合奉存候之
神君様ゟ号御　之奉始
公義御代之様号御
当国
御安堵仕　朝暮御祈祷向之奉申上候

○遠州見附本陣上村清右衛門古書之写

遠州見附宿
本陣
上村清右衛門

古清右衛門代
東照宮様三方ヶ原御退口之節
御代　御目ゟ家来之者
土井大炊頭
三浦
宝暦四年
慶長
遠州





寛永二年三月廿日

上村治部右衛門

上村文[illegible]

山口蔵人[illegible]

右[illegible]天[illegible]上[illegible]

右[illegible]

[illegible]

○神道葬祭[illegible]

[illegible]

相模

長奥守
道成

御奉行所

前書之通
山名右馬頭
長門守藤原
朝臣
右
第義絶近江守
方賀里主馬守
長奥守
道成

表題
齊藤三代記

[illegible]

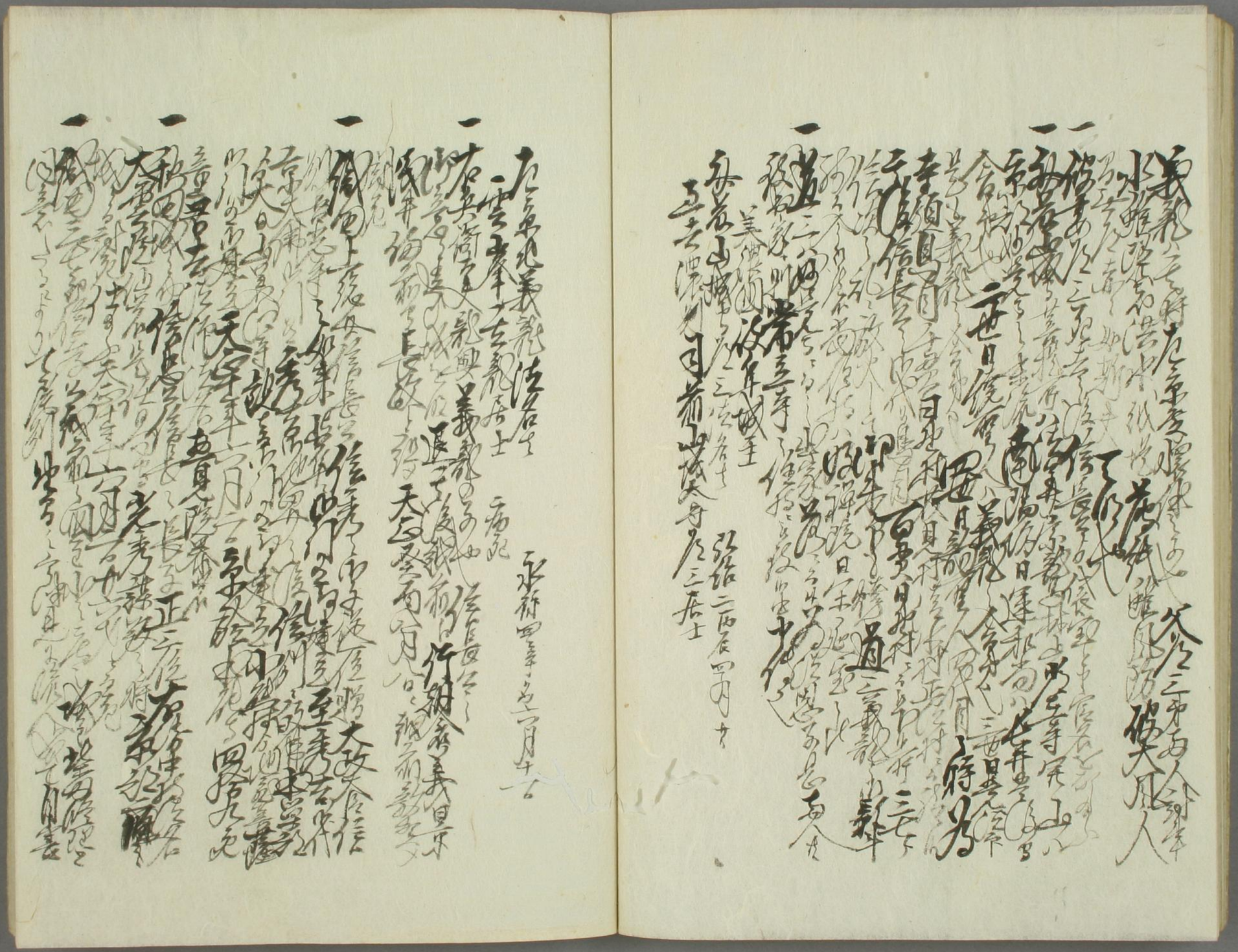
一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一
一
一
一
一
一
一
一
一
一



辞也

一 昔[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 未[illegible]命婦一条右二百三[illegible]

一 三善[illegible]

岐阜ノ氏神

一 人王十一代垂仁天皇ノ御子一ノ宮ノ御名ハ五十瓊敷入彦ノ尊ト奉申伊奈波山正一位因幡大明神ト現御本地ハ阿弥陀如来也

一 奥ノ院ハ山峯也大権現御本地ハ薬師如来也

一 外宮ハ金大明神御本地ハ観世音菩薩

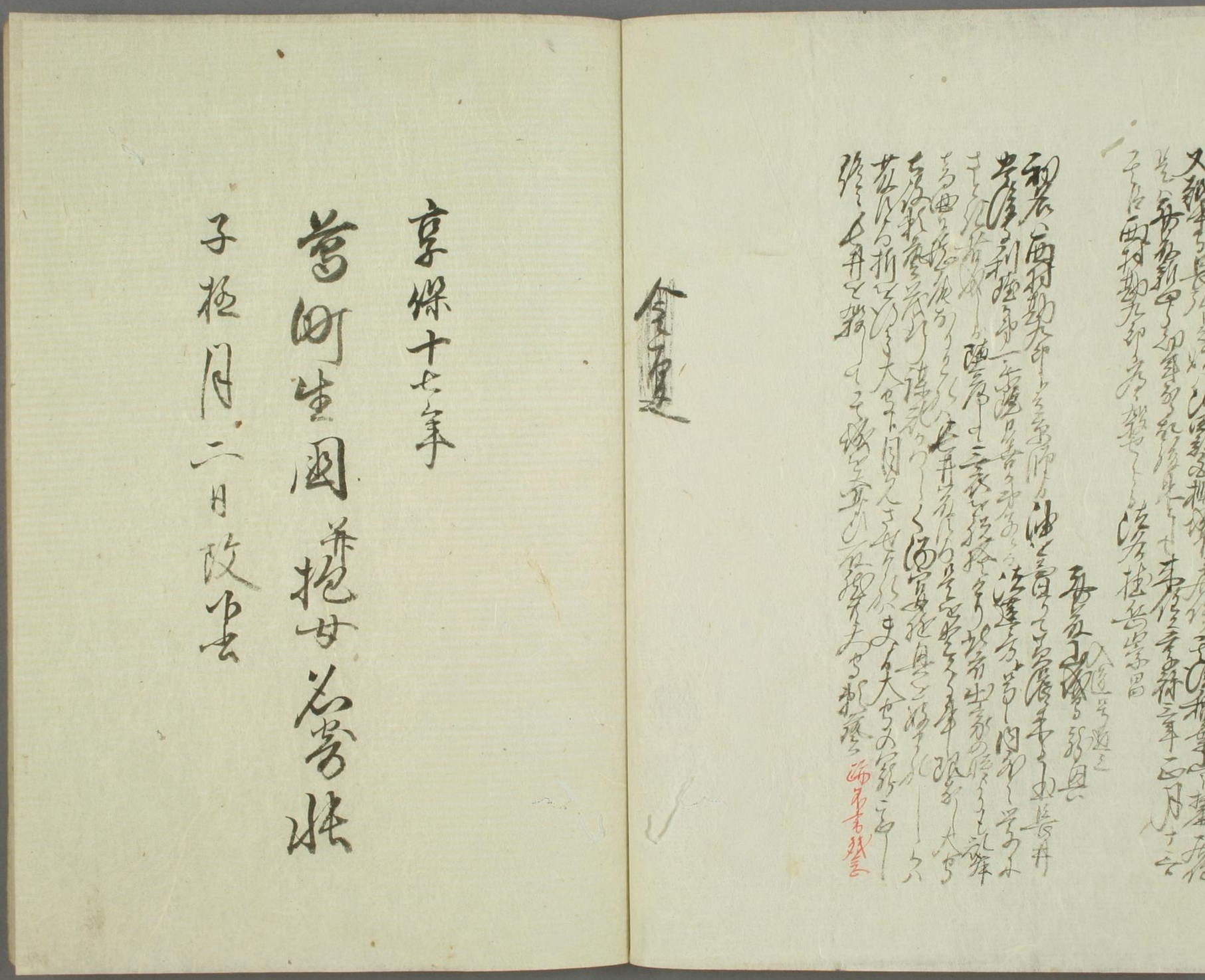
一 岐阜山ト云フノ名有金花山破鏡山一石山ト云

一 岐阜二

家康公之御役　御免ノ　御朱印アリ并ニ諸職人不可入者
依テ于今紀伊国ヨリ諸職人依無之居城但ニ出入免平井豊後守
一　濃州関城主平井氏入道
乃見ル伊達氏数之仰　古跡有
一　志津野山之城淡路島
一　船田山城
一　敷屋監物居城
路布之年
一　上有知
一　江州浦山
一　桐ノ谷
一　関十六
山ノ　金山城

是ヨリ別紙

関ヶ原山城主之事　二階堂山城守
建仁之比
光宗
北条
寛正元年庚四月廿四日
利長の子
利長
利安
長井藤右衛門利安



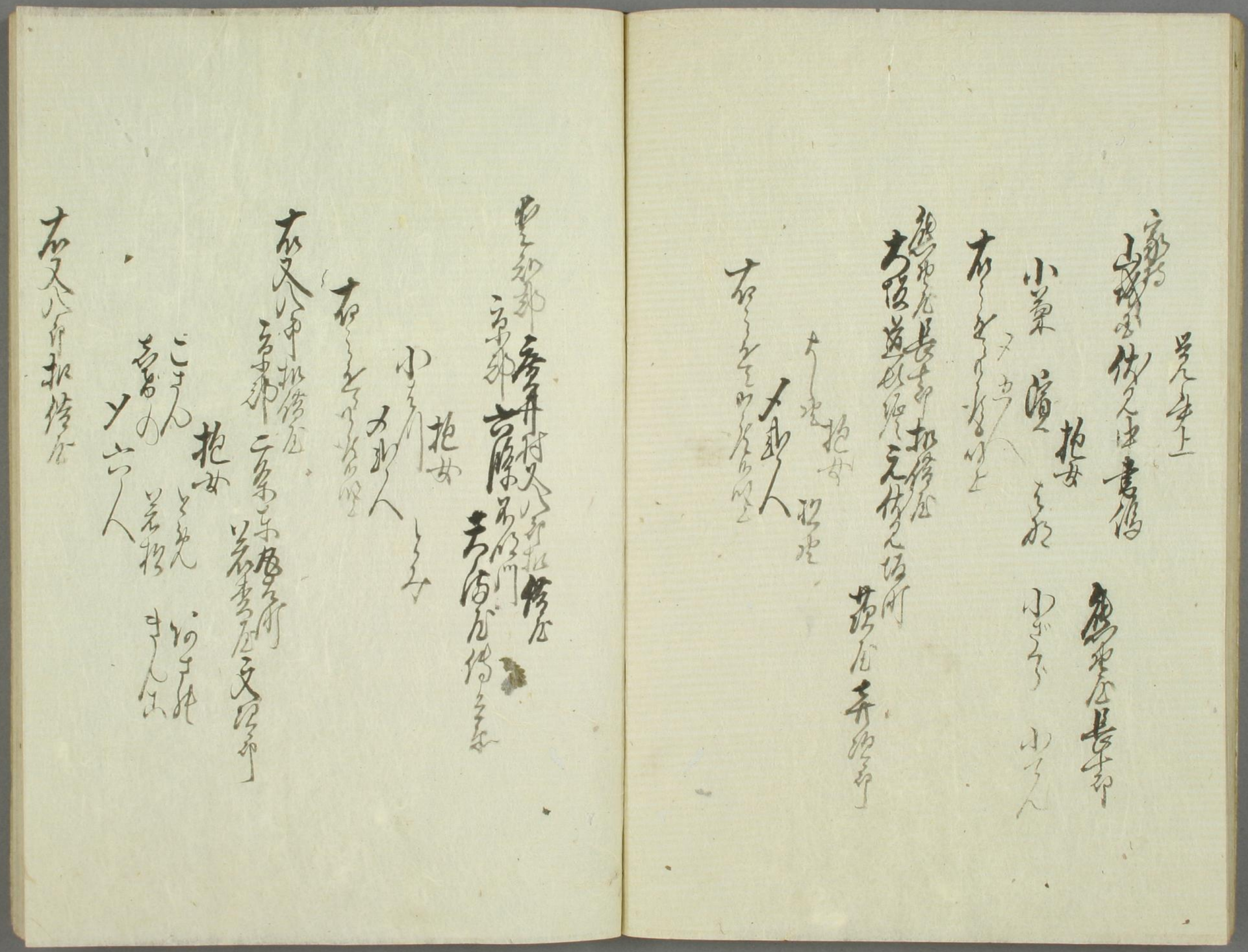
享保十七年

菅野生國并抱女名書状

子極月二日 改出

一 武州[illegible]村 [illegible] 吉原[illegible]
[illegible]卯年[illegible]借[illegible] 吉原[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]八十[illegible]

一 享保十七年子九月 吉原町 [illegible] 抱女 [illegible]
川越[illegible] 人別 [illegible]
当地[illegible] 揚屋 [illegible]
長兵衛 [illegible]
抱女 [illegible] 門[illegible]
[illegible] [illegible] [illegible]
万代 [illegible] ことし [illegible] 屋 上
[illegible]人 [illegible]
久保田[illegible] 勢州四日市 揚屋 [illegible] 吉原 [illegible]
[illegible] 抱女 [illegible] ことし 八十代
吉原代 [illegible]
〆 四人 [illegible]



京都三条所　第屋市兵衛

指図　拾女　三条　みすや　小間物屋

メ六人

右之八軒相傳屋

京都紙屋新町北横町　第九屋喜兵衛

拾女　織代　さくの

メ五人

摩訶那那摩耳相傳屋

利右衛門　山崎屋善六

摩訶那那摩耳相傳屋

山崎博多中書橋　ゑび橋屋善六

拾女　いそ　さくの

メ五人

摩訶那那摩耳相傳屋

京都紙屋横町　玉屋惣兵衛

拾女　きよ　さくの　久吉　いよ　第屋

右之四軒相傳屋

曙子所奏之家相傳屋

賀茂川橋

拾女　さくの　さく　さく

拾女　ゑび屋源兵衛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

傾城屋吉兵衛

抱女　みかと　のしみ　こん

禿代　まつえ　ゆきの　なきの

〆七人

同島地
白木屋吉左衛門

抱女　波江

禿地

〆弐人

右播州吉原相傾城屋

播州室新地東本所
辰巳屋吉兵衛

抱女　いろは　みさと　あやと

小みね

〆四人

勢州古市町相傾城屋
勢州古市町
山形屋吉兵衛

抱女　らしの　いろは　さと

禿代

摂州新地日吉村相傾城屋
京都祇園新地相傾城屋
紀州播磨町
菊屋嘉兵衛

抱女　らしの　小まつ　小ぎん

禿代

〆四人

摂州新地座摩村
大坂新地
文字相傾城屋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

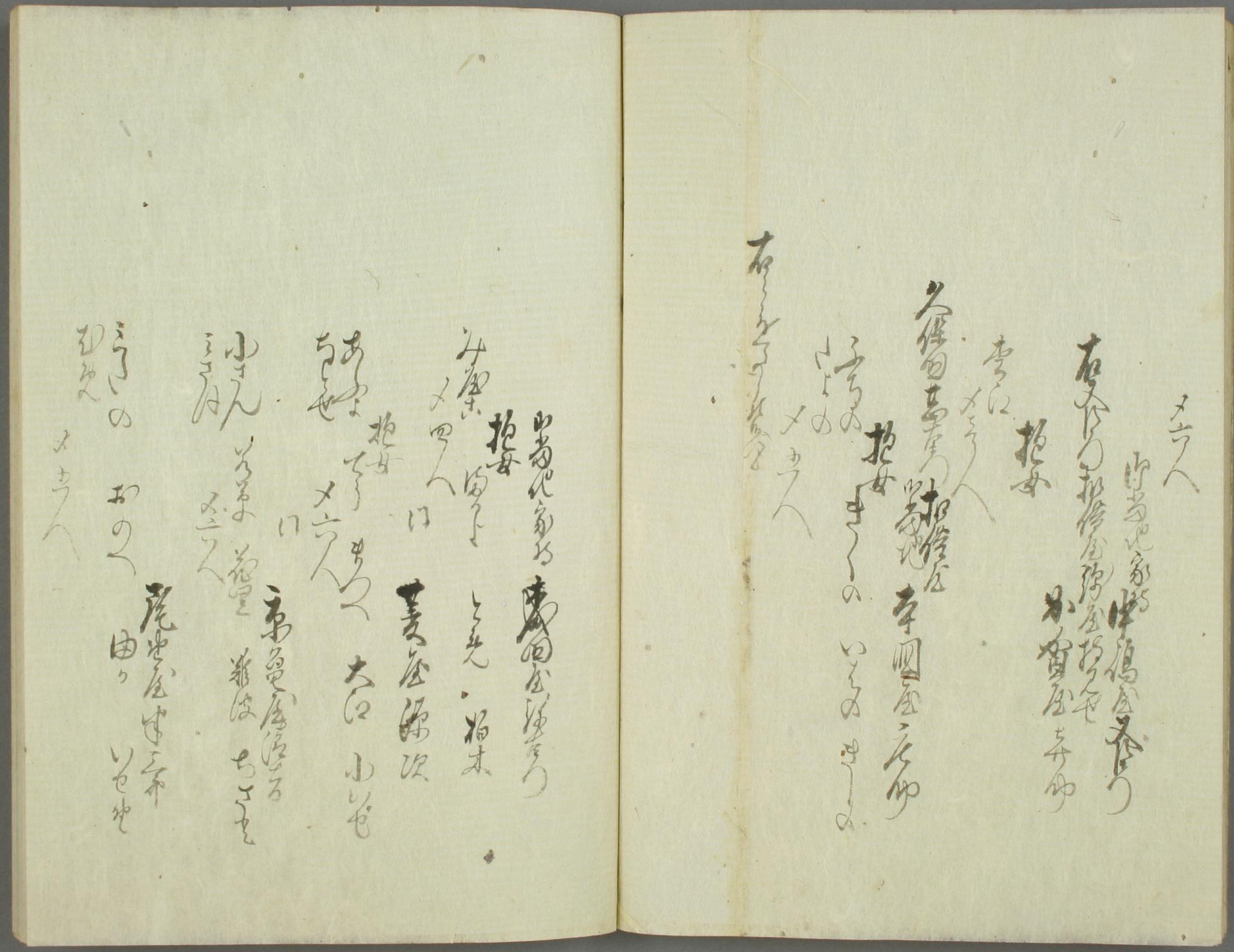
[illegible]

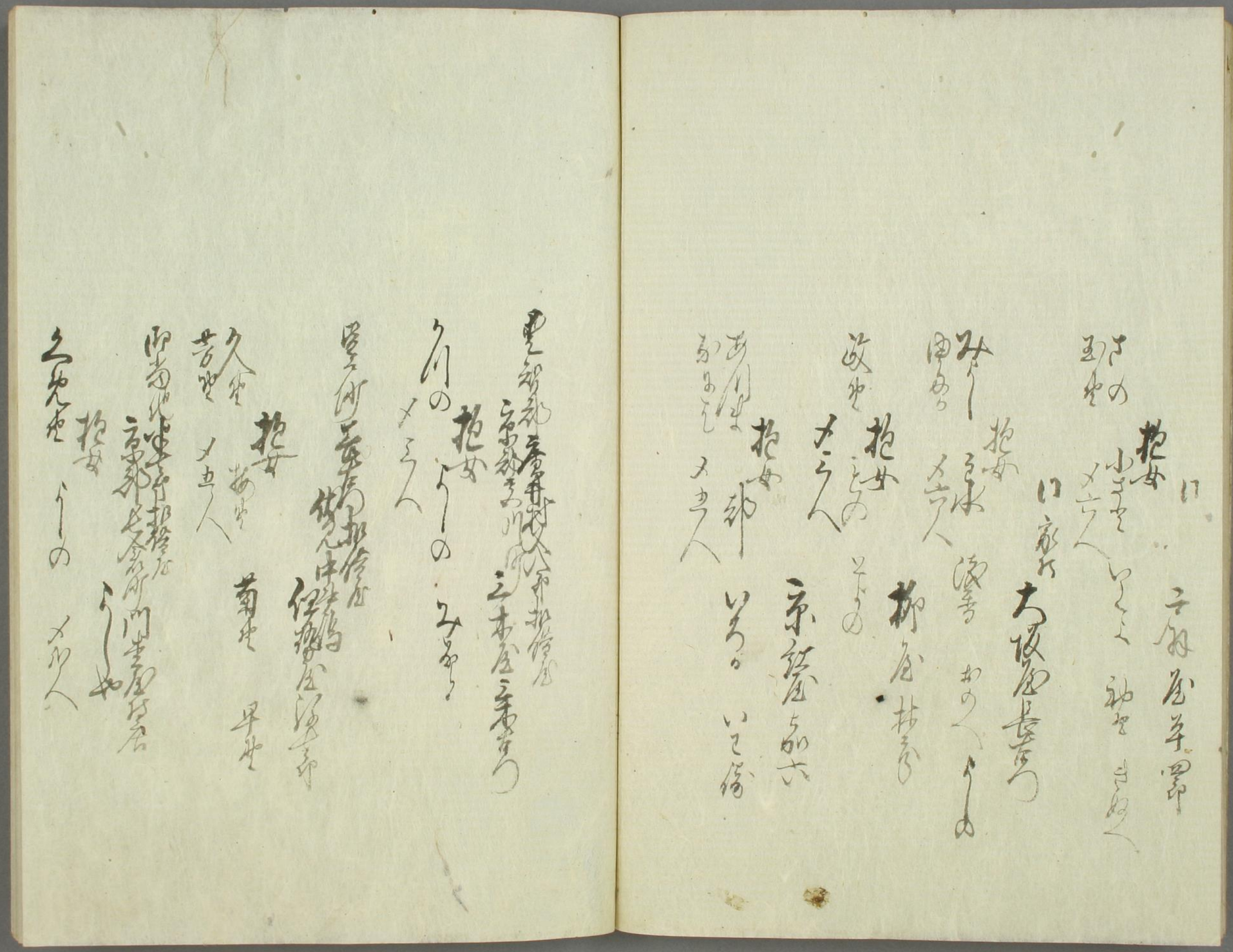
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]





渭邨陰陽集序

[illegible]

神[illegible]初天[illegible]渭[illegible]天[illegible]神[illegible]四[illegible]代[illegible]妻[illegible]神[illegible]伊[illegible]諾[illegible]伊[illegible]冊[illegible]尊[illegible]男女[illegible]合[illegible]始[illegible]是[illegible]

其後[illegible]業[illegible]後[illegible]農[illegible]高[illegible]四[illegible]代[illegible]天[illegible]地[illegible]陽[illegible]祭[illegible]神[illegible]武[illegible]天[illegible]皇[illegible]余[illegible]鳥[illegible]獸[illegible]異[illegible]

[illegible]天[illegible]地[illegible]陽[illegible]男[illegible]根[illegible]精[illegible]氣[illegible]強[illegible]將[illegible][illegible]

[illegible]是[illegible]四[illegible]帝[illegible][illegible]故[illegible]天[illegible]地[illegible]開[illegible]男[illegible]根[illegible]陰[illegible]

[illegible]根[illegible]元[illegible]氣[illegible]熱[illegible]性[illegible]人[illegible]小[illegible]天[illegible]地[illegible]天[illegible]地[illegible]雷[illegible]人[illegible]陰[illegible]陽[illegible]相[illegible]激[illegible]聲[illegible]時[illegible]撥[illegible]持[illegible]辰[illegible]

[illegible]論[illegible]天[illegible]霹[illegible]靂[illegible]神[illegible]鳴[illegible]雷[illegible]震[illegible]

[illegible]經[illegible]緯[illegible]論[illegible]草[illegible]女[illegible]青[illegible]蠶[illegible]氣[illegible]孤[illegible]龍[illegible]最[illegible]期[illegible]

一生難命の歎ありて今こゝに故ありて嘆くべし
辰の君の[illegible]故なり[illegible]故なり
又男の者[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]人皇四代稱德天皇の御[illegible]月村[illegible]道鏡[illegible]者中[illegible]
此者大[illegible]間[illegible]法皇[illegible]位せ[illegible]帝[illegible]帝の御寵愛[illegible]
強[illegible]一初[illegible]の[illegible]尊[illegible]慶[illegible]有[illegible]名[illegible]回鏡と[illegible]
[illegible]此[illegible]帝[illegible]御の後[illegible]都[illegible]家
[illegible]絶[illegible]の道[illegible]
[illegible]全体[illegible]悪心[illegible]
[illegible]北[illegible]
草[illegible]拙大勢[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]有[illegible]此御剣[illegible]
[illegible]
[illegible]

信長武威の早勢疫癘太盛の大勢自慢朝暮人の冀門を守り
進ずと早も海内の疫癘を平定遠国の事界後漢書曰昔ゲンゴ
ゴ者天竺ゴ国王ゴ子ゴ名ゴ悉ゴ達ゴ十六羅漢
拙僧も後世の菩提ゴ元来仏道ハ三人色道と仏法ハ四色
行者ゴ裸ゴ千ゴ人ゴ裸ゴ列ゴ
仏ゴ五中ゴ如何ゴ
病ゴ仏ゴ
拙ゴ
ゴ仏ゴ
ゴ
ゴ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

滑稽陰陽集下

陰の部

天有の地なの昼なの夜なり男有の女あり山の海あり[illegible]
鳥獣草木何れも其[illegible]陽なり[illegible]
是男女[illegible]陰なり[illegible]陽成の[illegible]
[illegible]陰門[illegible]
日の[illegible]
品[illegible]
陰[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

高倉宮生の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

何[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

編者曰男根の傳と共に前の説を後まうして表題を翻
[illegible]ことの如陽氣降り陰氣昇りて四時循環せるとの人天地
地の形とをもて男女の生ずるとの理を説くこと
[illegible]天理不可得滅の事
[illegible]
[illegible]論ずる所の陰陽の説は儒道佛道まで孔子其義
[illegible]上は萬事の者を初め下は那今乞食まで
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人心思ふ所なき故の上者の大事とても捨て置るべきなれども
[illegible]
[illegible]
[illegible]